・必ずお読みください・

組付作業手順

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

①「センターマフラーの仮組付」

- センターマフラー中間部、後部の取付ブラケットＡ、Ｂ、Ｃを純正ラバーステーに通します。
- センターマフラー前部のフランジと、純正のフロントパイプ後部のフランジを合わせて付属のガスケットＡを挿んで、純正ボルト、純正ナットで仮締付けしておいてください。

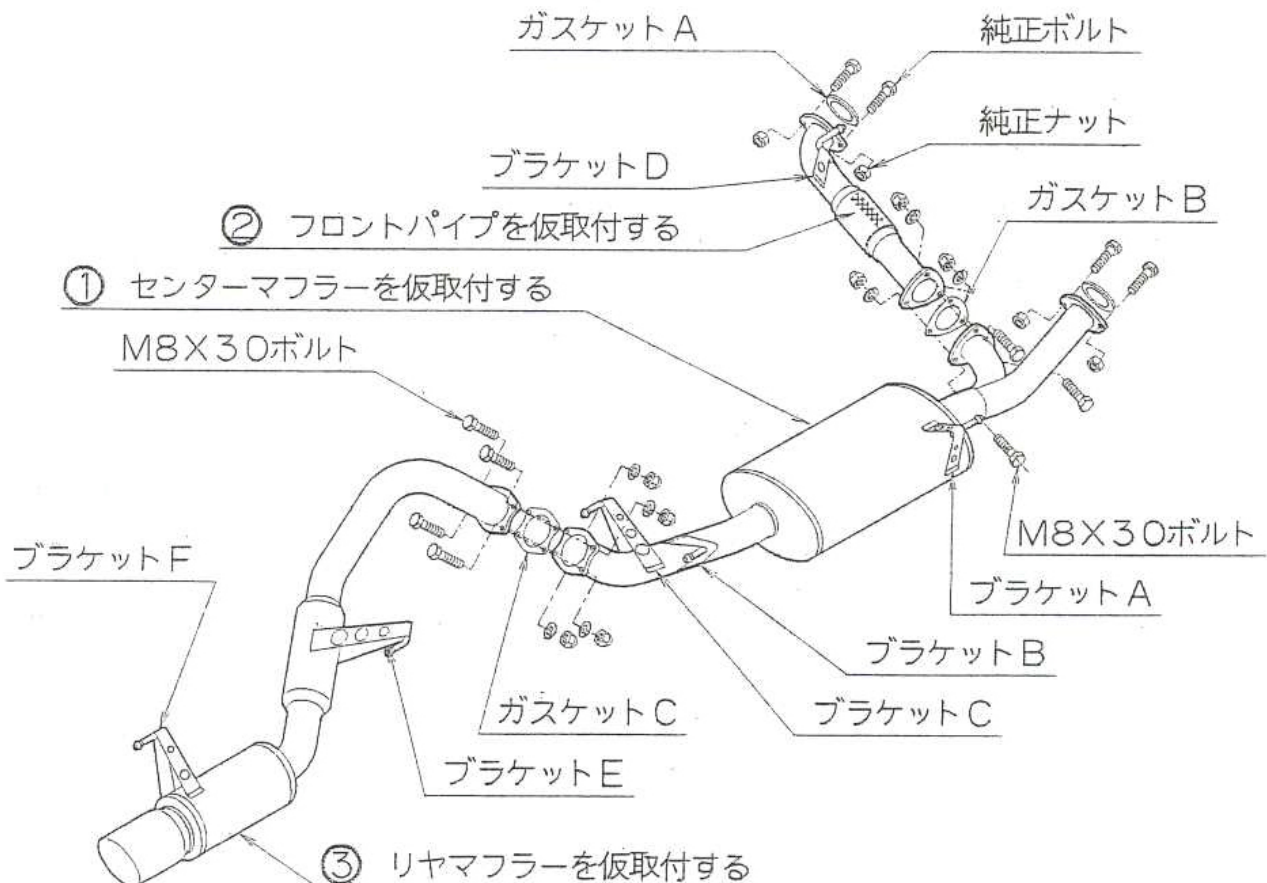
お願い　**吊り下げ用ラバーステー、ボルト、ナットは純正品を再使用してください。**

②「フロントパイプの仮組付」

- フロントパイプ前部の取付ブラケットＤを、純正ラバーステーに通してください。
- フロントパイプ前側をセンターマフラーと同じ手順で取り付け、後側をセンターマフラーの中間部のフランジと合わせ、ガスケットＢを挿みＭ８Ｘ３０ボルトを通して反対側からスプリングワッシャーナットで仮締付けしておいてください。

お願い　**吊り下げ用ラバーステー、ボルト、ナットは純正品を再使用してください。**

(GD-052)

・必ずお読みください・

組付作業手順

＊文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

③「リヤマフラーの仮組付」

・リヤマフラー前部フランジ側を自動車の後方からリヤアクスル上側の空間に通してください。

・取付ブラケットE、Fを純正ラバーステー通し、センターマフラー後部のフランジと、リヤマフラー前部のフランジとの間に、付属のガスケットCを挿んでM8X30ボルトを通して、反対側からスプリングワッシャー、ナットで仮締付けしておいてください。

お願い　**吊り下げ用ラバーステーは純正品を再使用してください。**

④「全体の本組付」

・フロントパイプ、センターマフラー及びリヤマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバー、シャーシ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら、仮締付けしてあったボルトとナットを自動車の前側から順に下記の指定トルクで締付けてください。

締付けトルク　M8　24.5~34.3N・m(2.5~3.5Kgf/m)
　　　　　　　M10　39.2~49.0N・m(4.0~5.0Kgf/m)

・テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があったら最初から締めなおしてください。

・クリアランス不足を放置すると異常な音がでたり、樹脂バンパーの場合、熱で溶けることがあります。

⑤「装着状態の確認」

・全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すぶって各部のクリアランスを確認してください。

・エンジンを始動して暖機運転し、約2，500回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。

・試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。

・以上の項目に異常があったら、面倒でも最初から装着をやり直してください。

以上で弊社マフラーの装着が完了しました。もう一度　本取扱説明書をよく読んで、安全で快適なドライブをお楽しみください。

◇製造・発売元　株式会社　マツショウ
◇所在地　〒340-0002
埼玉県草加市青柳8丁目64番地2号
TEL 048(935)3637 FAX 048(931)2242
◇取扱説明書　番号　GD-052
◇初版作成年月　2004.01.15